

## 高規格幹線道路等（四国8の字ハイウェイ）の整備促進

提案・要望先 国土交通省 日本道路公団

### 提案・要望の要旨

高知県の目指す「必要最小限の道路ネットワーク」の中で、最も根幹的な四国8の字ハイウェイを早期に整備するため

- ・ 高規格幹線道路等の整備にあたっては、災害への備えといった安全・安心の観点を十分に踏まえるとともに、地方の意見を反映させること
- ・ 高速道路料金収入を最大限に活用し、建設に必要な財源を確保するための仕組みを確立し、現在の整備スピードを落とさないこと

四国横断自動車道について

- ・ 須崎市～窪川町間の早期完成を図ること
- ・ 窪川町以西の区間の早期事業化を図ること

高知東部自動車道について

- ・ 高知市～芸西村間の早期完成を図ること
- ・ 芸西村～安芸市間の早期事業化を図ること

地域高規格道路・阿南安芸自動車道について

- ・ 安芸市～奈半利町間、北川村～東洋町間の早期事業化を図ること

### 現状と問題点

#### 【現状】

本四3架橋が実現し、さらに、四国の四県都が高速道路で結ばれ、その整備は一定進んできました。しかしながら、四国8の字ハイウェイを形成する高規格幹線道路等の整備は大きく後れています。

四国8の字ハイウェイは、中国・近畿経済圏との広域連携など、高規格幹線道路等のネットワーク効果を県内の隅々まで波及させるとともに、第三次医療機関への搬送や、近い将来確実に発生すると予測されている南海地震など災害時の緊急輸送道路として、大きな役割を担う必要不可欠な社会基盤です。

#### 【問題点】

- ・ 救急医療等の社会サービスにおける大きな地域格差が拡大
- ・ 豊かな地域資源（水産、農産物、海洋深層水）を地域の活力に転換（高鮮度、高付加価値化）できない。
- ・ 豊かな自然（四万十川、足摺岬、室戸岬）を地域の魅力として活用しきれない。
- ・ 南海地震等の際の緊急輸送道路として、地域の命を守り、地域を支えるルートが確保されていない。

## これまでの取り組み状況と今後の課題

### 【取り組み状況】

須崎新荘～窪川間(21.8 k m)は、設計協議を進めるとともに、設計協議を締結した地域において用地を取得している。

窪川以西は、地域の実情に即した規格の導入や都市計画決定への取り組みを進めている。

高速道路の利用促進や観光振興をはかるため、四国の高速道路の利用者に抽選で四国各県の特産品をプレゼントするチケットラリーを実施している。

### 【本件に関する連絡先】

|             | 高知県土木部道路計画課                  | 高知県東京事務所                         |
|-------------|------------------------------|----------------------------------|
| 所在地         | 〒780-8570<br>高知市丸ノ内1丁目2番20号  | 〒100-0013<br>千代田区霞が関3-3-1 尚友会館1階 |
| T E L       | 088-823-9835                 | 03-3501-5541                     |
| F A X       | 088-823-9232                 | 03-3501-5545                     |
| E -mail     | 170701@ken.pref.kochi.lg.jp  | 120102@ken.pref.kochi.lg.jp      |
| 担当者<br>職・氏名 | 道路計画課長 森部 慎之助<br>高速道路班長 山内 健 | 主幹 黒岩 章                          |